

女性議員を増やして政治を変えよう！

「進めよう！クオータ制」

主催 全国フェミニスト議員連盟
増やせ女性議員、なくせ女性ゼロ議会キャンペーン

日時 2010年8月29日(日) 9:30~11:30
場所 NWEC(国立女性教育会館) 研修棟 2F 中会議室

資料代 500円

問い合わせ noasobi@circus.ocn.ne.jp (貴谷)
k.mizue@sea.icn-tv.ne.jp (勝又)
携帯080-6312-0032 (貴谷)

ワークショップはNWECフォーラムの一環で行われます。
<http://www.nwec.jp/jp/program/invite/2010/page07i.html>

7月の参院選で、女性は改選数121議席中17人、わずか14%でした。政府が定める「2020年30%」にはほど遠い状態です。意思決定の場に「人口の半分を占める女性を30%以上にする」という強い姿勢が、日本の政党そして女性たちにあるのか、が厳しく問われる数字です。

クオータ制は、両性が方針決定の場に一定の割合を占めるようにする仕組みです。現在、世界101カ国で実施されています。

国連勧告もあり、政府は「第3次男女共同参画基本計画案の答申」にクオータ制を初めて明記しました。「暫定的な特別措置」、すなわちクオータ制こそ、今の日本において不可欠であり、今こそ、実現する時です。これを機にあらためて学習し、国会、地方議会に女性議員を増やすための各地での行動の糧になればと願います。

***** プログラム *****

- 1 「日本の政党のクオータ制について」
勝又みずえ (全国フェミニスト議員連盟)
 - 2 「フランスのパリテについて」
糠塚康江 (関東学院大学法学部法学科教授)
 - 3 「北欧そして世界のクオータについて」
三井マリ子 (女性政策研究家)
- コーディネーター 神永れい子 (クオータ制の実現をめざす会)



三井マリ子

女性政策研究家。東京都議、大学講師を経て大阪府豊中市男女共同参画推進センター初代館長、福井県武生市初代男女平等オンブッド等を歴任。著書は『男を消せ！～ノルウェーを変えた女のクーデター』(毎日新聞社)、『ノルウェーを変えた髭のノラ～男女平等社会はこうしてできた』(明石書店)等。



糠塚康江

関東学院大学法学部法学科教授。著書は『パリテの論理—男女共同参画の技法』『民主主義を考える過去、現在そして未来へ』『選挙に勝つ Q&A 地方選挙マニュアル』等。「人々が相互に理解しあうためには『言葉』と『論理』を尽くさなければなりません」と語る。

全国フェミニスト議員連盟は、市民と議員の女性運動団体です。1992年創設され、地方議会に女性議員を4割以上にすること等を目標に活動をしています。女性差別撤廃条約選択議定書については、国の方に会として批准の要請文を提出し、会員の議員が中心となって議会での「意見書」採択という方法で、がんばっています。全国フェミニスト議員連盟は、第3次行動計画への提案をしました。http://www.afer.jp/